

CSS2009 参加者行動分析実験へのご協力のお願い

2009年10月26日 CSS2009 実行委員会

本実験の主旨・目的にご賛同頂ける方は1階受付脇にて参加申込をお願いいたします

1. はじめに

CSS2009 では、各セッション会場での参加者の出入り状況および参加者属性（例：性別、年代）から統計調査を行う「CSS2009 参加者行動分析実験」を実施します。これにより例えば「暗号のセッションでは学生の聴講率が高い」といった相関を得る事ができ、今後の会議の運営や研究活動に役立つものと期待しています。出入り状況はご賛同者に配布するRFID タグをRFID リーダ（UHF 帯（950MHz））から読み取ることにより、参加者属性はアンケートご回答いただくことにより取得します。参加者のプライバシーへの配慮として、実験の主旨および目的を十分にご理解頂き、ご賛同頂いた方にのみRFID タグを配布して情報を取得する（オプトイン方式）とともに、後述のような技術的対策（NTT が開発した秘密計算技術）も行います。皆様、ぜひご協力の程よろしくをお願いいたします。

2. ご協力をお願いする内容

実験に際しご協力をお願いする内容は、（1）RFID を名札ケースに入れて持ち歩いていただく、（2）専用端末から簡単なアンケートに答えていただく、の2点です。アンケートは会議期間中であればいつでもお答えいただけます。

3. 実験の主な流れ

ご賛同頂ける方は、1階受付の脇にある実験参加申込受付にてRFID タグを受け取り、専用端末から簡単なアンケートにお答えください（RFID タグは名札ケースにお入れください。少し窮屈ですが…）。RFID タグには001から400までの数字（ID 番号）が書き込まれています。RFID タグはお好きなものを1枚お選び頂くので、運営側でも実験ご賛同者とID 番号の対応は分かりません。但しアンケート回答結果は暗号化してID 番号と対応付けて保存されます。

各セッション会場の入り口付近にはRFID リーダ（アンテナ）が設置されています（詳細場所は実験参加申込受付にてお知らせいたします）。角度と遮蔽物にもよりますが、アンテナからおおよそ3m以内にあるRFID タグのID 番号を読み取ることができ、読み取ったID 番号は読み取り時刻とアンテナ番号とともに専用端末に保存されます。

統計調査は、読み取りID 番号、読み取り時刻、アンテナ番号、そして読み取りID 番号に対応する暗号化アンケート回答結果を用いて行います。アンケート回答結果から個人が推定され、特定の個人の行動情報やアンケート回答内容が第三者および運営側に対しても知ら

れる事を防ぐため、秘密計算技術を用いて実験ご賛同者のプライバシーを守りつつ統計調査を実施いたします。調査結果は後日 CSS2009 ホームページ (<http://www.iwsec.org/css/2009/>) にて公開予定です。なお RFID タグは配布した場所にて回収しますのでご協力の程よろしく願いいたします。会議途中でタグを返却し実験参加を中止していただくことも可能です。

4. 秘密計算技術について

本実験で用いる秘密計算技術は、「暗号化されたデータに対し、特定の二者が計算に協力した場合のみ、その計算結果を求める事が可能」となる技術です。これにより例えば、特定の二者が平均値の計算に協力すれば暗号化されたデータ（数値）群の平均値を導出する事ができ、個別の暗号化されたデータの復号計算に二者の何れかが協力を拒否すれば個別のデータは復元困難となります。今回の実験では、一方を実行委員長の高橋克巳（NTT）が担当し、一方をプログラム委員長の西垣正勝先生（静岡大学）にご協力頂いております。詳しくは実験参加申込受付にいる担当の者までお尋ねください。

5. 本実験で取得した情報の取り扱いについて

本実験で取得した情報につきましては、統計調査の目的でのみ利用させて頂き、調査結果取得後は専用端末に情報が残らないよう適切な手段で情報を削除いたします。また統計調査の結果および内容につきましては、後日 CSS2009 ホームページや学術系会議にてご報告させて頂く予定です。

6. 電波の医用機器への影響について

本実験で用いる RFID 機器（リーダライタ・アンテナ）は電波を使用するため医用機器に影響を与える恐れがあります。そのため、（社）日本自動認識システム協会のガイドラインに基づき、RFID 機器より 22cm 以内に近づかないよう床面にテープで立ち入り禁止区域を設ける対策をとっておりますが、ご不安のある方は下記の問い合わせ先までご連絡ください。

以上